

# 米沢市上杉博物館 「上杉文華館」 目録

年間テーマ：上杉鷹山の藩政改革

8月27日（木）～9月22日（火） 期間テーマ：意見と議論②

資料名	頁数	法量 (cm)	時代	番号	所蔵
複製 狩野永徳 国宝上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	室町～桃山 (16世紀)	複製A	上杉博物館
国宝 上杉家文書 1 上杉鷹山書状	1通	16.8×182.0	(享和3年・1803) 7月8日	1097	上杉博物館
国宝 上杉家文書 2 毛利方元宛 上杉斉定書状案 「黒井繁邦 雑集二」のうち	1通	36.0×49.4	(文化9年・1812) 9月20日	1253	上杉博物館
3 勘定所上書写	1通 (1冊)	27.1×17.1	原本 (宝暦13年・1763) 7月		上杉博物館

本年度の上杉文華館は「上杉鷹山の藩政改革」と題して、国宝「上杉家文書」のうちこれまで紹介されていない未翻刻の資料を中心に約1ヶ月ごとに展示替えしながら、その他の関連資料を含めて展示します。常設展示室内の「次第に困窮に及ぶ」や、「なせばなる 鷹山登場」とあわせてご覧ください。

鷹山は、宝暦元年（1751）7月20日、高鍋藩主秋月種美の二男として江戸に生まれました。母方の祖母が4代米沢藩主上杉綱憲の娘でした。宝暦10年、8代米沢藩主上杉重定の養子となり、明和4年（1767）4月24日、上杉家の家督を継ぎ、数え年17歳で9代藩主となりました。当時の米沢藩は、借金の累積、家臣団の困窮と秩序の混乱、天災や過重な税負担による農村の荒廃と人口の減少など、多くの課題を抱えていました。

鷹山は、竹俣当綱や菟戸善政をはじめ多数の優秀な家臣とともに、財政の再建と産業育成、学問の振興と家臣団秩序の厳格化、農村の復興と人口増加策など、様々な改革を実施します。天明5年（1785）に35才で隠居した後は、米沢にあって10代治広、11代斉定の藩政を助けて改革を継続し、文政5年（1822）に亡くなりました。

## 〔意見と議論〕

上杉家文書には、鷹山が藩主の治広や斉定、重臣との間で議論したことを示す文書が複数含まれています。また、藩士が提出した意見書も伝来しています。今回はそのうち2点を展示します。

米沢藩は、初期こそ執政・直江兼統の専制でしたが、二代藩主上杉定勝の治世下で複数名の奉行（家老）による合議制が敷かれ、以後も継続しました。鷹山の時代には、藩政を司る複数名の米沢の奉行（家老）と江戸家老、近習のトップである小姓頭で議論することが多かったようです。時に勘定頭や郡奉行といった関係部局への諮問や、師である細井平洲・渋井太室といった外部の学者にも助言を求めました。当時の議論は一般的に、藩主や上層部の諮問に対し、関係者が十分に話し合い、最後は藩主が決断し意見の一致を図るものだったと指摘されています。また、武士は主君に対し忌憚なく意見し、主君もその意見を聞くことが理想とされていました。議論に参加できる者は限定的で藩主の権限が強く、近代以降の民主的な議論や議決とは異なる仕組みでした。

## 「郷土の美術でたどる日本美術史ミニ講座 ③現代編」出品目録

会期：8月27日（木）～9月13日（日）

- ・展示室内でもマスクの着用、お客様同士距離をとっての鑑賞にご協力をお願いいたします。
- ・展示室内の温湿度、照度は作品保存に適した環境になっています。ご理解・ご協力をお願いいたします。
- ・出品作品はすべて米沢市上杉博物館所蔵です。

No.	資料名	作者	員数	年代	技法材質	法量 (cm)	備考	初公開
1	ヒマラヤの朝	福王寺法林	二面つなぎ	1978年(昭和53)	紙本彩色	195.5×395.7	再興第62回院展	
2	高砂族の舞	福王寺法林	六曲屏風	1972年(昭和47)	紙本彩色	182.0×382.0	再興第57回院展	
3	高砂族の舞大下図	福王寺法林	三枚つなぎ	1972年(昭和47)	紙・鉛筆	191.0×386.0cm		○
4	襖絵(鶉に植物)	遠藤桑珠	三面	1949年(昭和24)	紙本着色	①50.0×113.1②32.6×111.1③32.6×111.4		
5	光と樹氷	遠藤賢太郎	一面	2006年(平成18)	キャンバス・油彩	194.0×162.0	第80回国画会展	○
6	波(舟人図)	本間国生	一面	昭和時代	紙本墨画	44.5×52.5	網代コレクション	
7	あるポーズVI	桜井祐一	一体	1967年(昭和42)	ブロンズ	85.0×63.0×90.0	第2回日本現代彫刻展 第9回日本国際彫刻展	
8	野分(芭蕉について)	鈴木実	一体	昭和～平成	樟	66.0×24.0×24.0		○
9	親鸞	鈴木実	一体	1954年(昭和60)	樟	52.5×15.0×14.0		○
10	子供と紙風船	阿部誠	一体	1979年(昭和54)	木	46.0×13.0×5.0	第3回彫刻日動展	○
11	おんな-山形	峯田敏郎	一体	1991年(平成3)	テラコッタ	62.0×40.0×27.0		○
12	Manhattan Summer 1992	後藤克芳	一点	1992年(平成4)	木・アクリル	109.0×109.0×1.5		
13	Metamorphosis (M成虫)	鈴木浩明	三体	2001年(平成13年)	陶芸	15.0×100.0	六体組の内三体展示	
14	花紋帯	椿夏子	一点	昭和時代	型絵染	30.0×326.0		○
15	型絵染着物	椿夏子	一点	昭和時代	型絵染	153.0×62.0		
16	刺子	遠藤きよ子	一面	平成時代	布・刺子	76.0×65.0		○
17	鈴木実 制作のためのスケッチ	鈴木実	スケッチブック1冊/スケッチ5枚	1950～60年代	紙・鉛筆			
18	椿夏子 型絵染用型紙	椿夏子	五枚	昭和～平成	柿渋紙・紗(絹糸)			